

田助愛・助け合い



平戸市立田助小学校

平戸市大久保町441-1

電話 0950-22-9231 • FAX 0950-22-2516

令和2年9月10日(木) 校長 岸 誠

第2学期始業式

いつもより短い夏休みが終わり、1日(火)から2学期が始まりました。夏休み中は、お出かけしたい気持ちをおさえて、おうちや地域で過ごすことがほとんどだったと思います。始業式では、子どもたちのそんながまんやがんばりを褒めました。また、いつものように2学期のテーマを伝えました。私が伝えたテーマは『そこに愛はあるんか?』です。CMのフレーズを使いました。学校生活のあらゆる場面において、この『そこに愛はあるんか?』は通じると思います。友だちや先輩・後輩と話をしているとき、そうじをしているときなど、一歩立ち止まって「そこに愛はあるんか?」と自問してみると、嫌な言葉を言ったりそうじをさぼったりできないのではないかと思います。毎度おなじみではありますが、愛のある田助小学校にしていきたいと思っています。2学期もよろしくお願ひします。

児童代表のあいさつは、2年生の〇〇〇〇〇さんが行いました。2学期は、週に1つ音読集の中の詩を覚えてNo.2にも挑戦することや漢字練習をがんばること、算数で計算が速くできるようになることや大好きな読書をがんばることなどについて話をしました。堂々と発表することができており、とてもすばらしかったです。もう一人、3年生の〇〇〇〇〇さんが発表をする予定でしたが、当日は体調不良のためお休みで、発表することができませんでした。発表するはずだった内容は、算数をがんばることや大きな声でワンストップあいさつをすること、それから、妹にやさしくすることやバレーをがんばることでした。9月にある平戸市予選で優勝して、県大会に出場したいそうです。

各学級でも2学期の目標を設定しています。みんな、達成に向けて頑張ってくれると思います。



台風9号・10号

2学期が始まり、運動会や教育週間に向けて張り切っていたところ、立て続けに台風が接近して、子どもたちのやる気に水を差されてしまいました。相次ぐ休校や日程変更で、保護者の皆様には御迷惑をおかけして、本当に申し訳ございませんでした。臨機応変に対応していただき、ありがとうございました。

10号に至っては、特別警報級の暴風雨が予想されていたため、普段以上に備えをしたり避難をしたりと、とても恐ろしかったですが、どちらの台風でも、大きなかがなどがなくてよかったです。それでも、家屋等への被害があったと聞いています。お見舞い申し上げます。

台風が過ぎた次の日は、朝から子どもたちがそうじをしたり、いろいろな物をもとの場所に戻したりする作業をがんばってくれました。学校への愛を感じました。

9号明けの放課後には、2年生保護者の〇〇さんが、歩道をふさいでいた大木を、知り合いの方と一緒に道脇に移動してくださいり、子どもたちが安全に下校できるようにしてくださいました。そこでも子どもたちへの愛を感じました。〇〇さん、お知り合いの方、本当にありがとうございました。



運動会について

先日御案内したように、**9月27日(日)**に運動会を開催します。例年とは違った形での開催であるため、保護者のみなさんにおかれましては、いろいろな御意見があると思います。今回のようにした理由をお知らせします。

●平戸市外では、まだまだ新型コロナウイルス感染が確認されています。そのため、市内在住の方に限させていただきました。

●万一に備え、学校以外の機関との交流を控えさせていただきました。

●学校以外の機関と関連のあるプログラムをカットしたので、演目数が減りました。それにより、子どもたちは休む暇がこれまでのようにはありません。そのため、選抜リレーをカットしました。9月開催ですので、熱中症予防の対策もしなければなりません。

●お弁当をなくして全プログラムを午前中に行なった場合、片付け等も考えると、子どもたちは1時過ぎまでお腹ごはんを食べられないことになります。とてもかわいそうです。これ以上プログラムをカットするのも、これまでのがんばりを考えるとかわいそうです。

◎なにより、運動会のお弁当というのは特別なものだと思いませんか?おうちの人が、自分のために作ってくれたお弁当を、おうちの人と一緒に食べる。子どもたちは、そこに家族の絆や親の愛情を感じると思います。私はそう感じてきました。子どもを育てるということはとてもたいへんなことです。「子どものため」に親が「少しだけがんばる」、「少しだけがまんする」ことの積み重ねがとても重要です。決して、なんでも子どもの希望をかなえるということではありません。御意見があれば、いつでも校長室にお越しください。お茶を用意してお待ちしております。